

危険の「見える化」事例集（第3集）

No.1 危険の「見える化」安全衛生活動事例

1-1：平成26年度厚生労働省「見える安全コンクール」応募作品

非鉄金属鋳物業（長野市）

1-2：建築工事業（下伊那郡松川町）

1-3：土木工事業（佐久市）

1-4：土木工事業（佐久市）

1-5：団体の活動（建災防長野分会 安全指導者会）

No.2 危険の「見える化」改善事例

2-1：窯業・土石製品製造業（上水内郡飯綱町）

平成27年1月

長野労働局 労働基準部 健康安全課

危険の「見える化」安全衛生活動事例

平成 26 年度厚生労働省「見える安全コンクール」応募作品

業 種 : 非鉄金属鑄物業

所在地 : 長野市

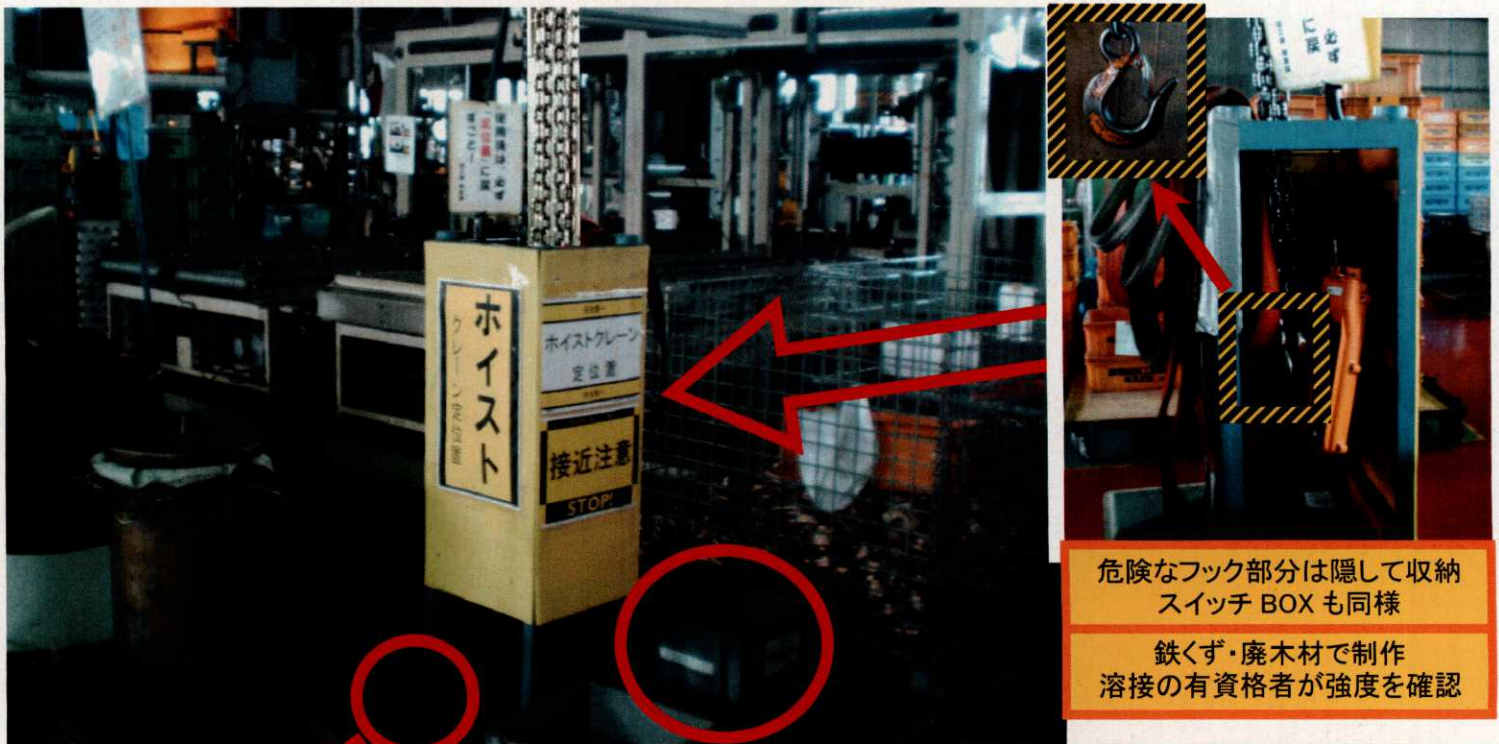
労働者数 : 95人

事業内容 : 銅合金製品の鑄造及び機械加工

主な製品 : バルブ・継手関連、住宅機器関連、制御機器関連、一般機械部品等の製品・部品

安全衛生活動 : 社内で日常「ヒヤリ・ハット」体験事例を募集している。体験事例に対してはリスクアセスメントを実施し、改善につなげる活動を展開している。

クレーンの見える化(5S)



危険なフック部分は隠して収納
スイッチ BOX も同様

鉄くず・廃木材で制作
溶接の有資格者が強度を確認



足下は半固定にしてレイアウト変更に対応上部から下部にかけて緩やかに広がっているため、人がぶつかった程度では倒れない(実験済)



吊り下げ補助具も個別に収納
戻し忘れ防止に見える化

見える化の経緯

- ① 作業員が通路を歩行中にクレーンに異常接近(ヒヤリハット体験)
- ② リスクアセスメント活動
- ③ 置き場の自作の提案
- ④ 全員でプロトタイプ制作(みんなで共有)
- ⑤ 改善及び運用ルールの指導
- ⑥ クレーン由来のヒヤリハット消滅













危険の「見える化」事例

業 種：建築工事業
 所 在 地：松川町
 労働者数：6人
 好事例の対象：安全衛生情報の「見える化」

1. 現場事務所前の掲示板に玉掛用ワイヤロープの使用禁止基準に関する掲示物を掲示しているもの。
 玉掛用ワイヤロープの使用禁止基準をイラストを用いて分かりやすく説明している。

ワイヤロープ使用禁止基準

ワイヤロープは、作業前によく点検し、次の場合は**使用を禁止**すること。

素線の断線	1より間において素線の数の10%以上が切断しているもの			
摩 擦	直径の減少が公称径の7%以上のもの			
キ ン ク	キンクしたもの			
変 形	著しく形くずれ及び損傷・腐食のあるもの			

2. 現場で使用する玉掛用ワイヤロープの今月の点検色を決めて、現場事務所前の掲示板に今月の玉掛用ワイヤロープの点検色を掲示しているもの。

玉掛ワイヤロープの点検

今月 の点検色は 白 色です

3. 現場事務所内に「安全基本行動」に関する掲示物を掲示しているもの。



各労働者も「安全基本行動」のワッペンや、「安全基本行動」のステッカーを貼ったヘルメットを着用することにより、「安全基本行動」の徹底を図っている。



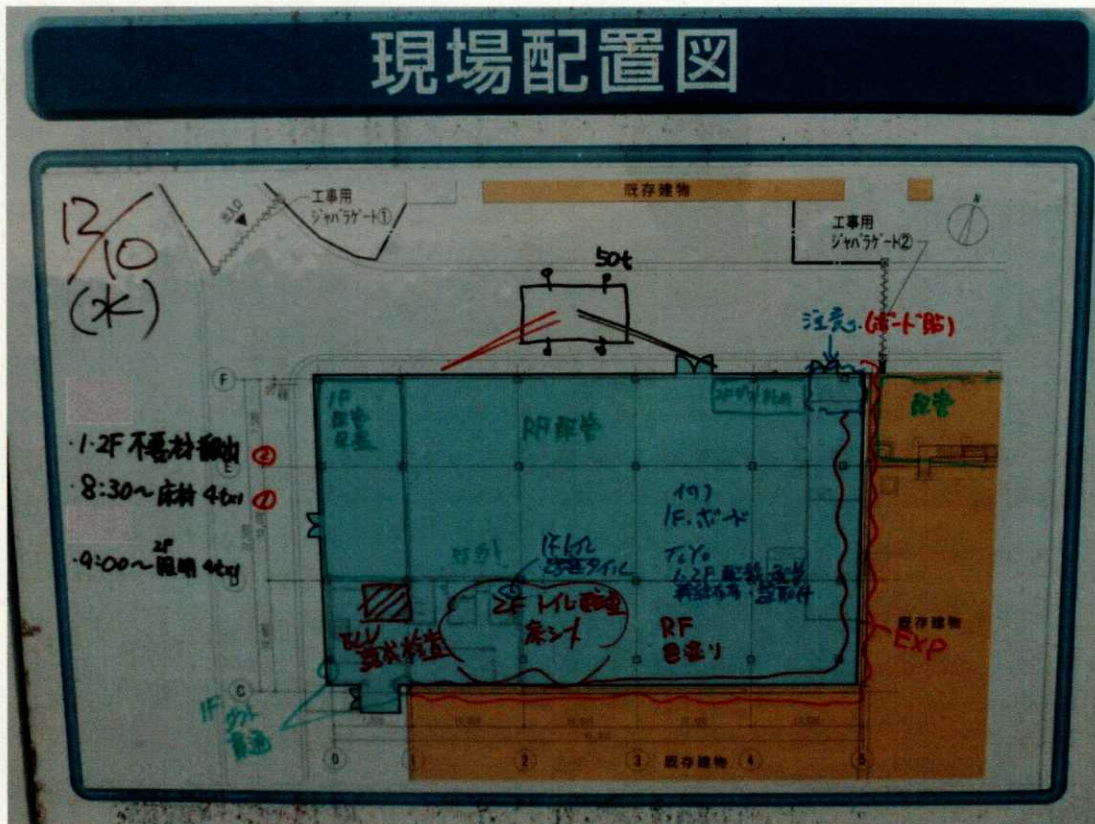
4. 各労働者の名札入れの中に、「一人 KY 実施推進運動」のチェックシートを入れているもの。作業開始前にこのチェックシート見て一人 KY を実施している。



「一人 KY 実施推進運動」のチェックシートを拡大したもの。

①墜落しないか、転落しないか。	<input type="checkbox"/>	⑥ぶつからないか。	<input type="checkbox"/>
②落ちてこないか、転倒しないか。	<input type="checkbox"/>	⑦感電しないか。火傷しないか。	<input type="checkbox"/>
③挟まれないか。巻き込まれないか。	<input type="checkbox"/>	⑧腰を痛めないか。	<input type="checkbox"/>
④切れないか。こすれないか。	<input type="checkbox"/>	⑨目、指先を痛めないか。	<input type="checkbox"/>
⑤転ばないか。踏抜かないか。	<input type="checkbox"/>	⑩その他ないか。	<input type="checkbox"/>

5. 現場事務所前の掲示板に現場配置図を掲示し、本日はどこでどのような作業を行うかを記載しているもの。



6. 現場事務所前の掲示板に所長方針や今月の安全目標を掲示しているもの。

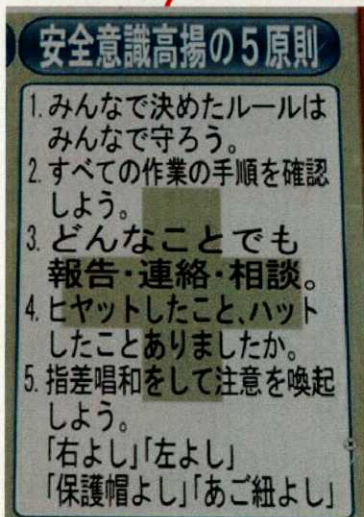
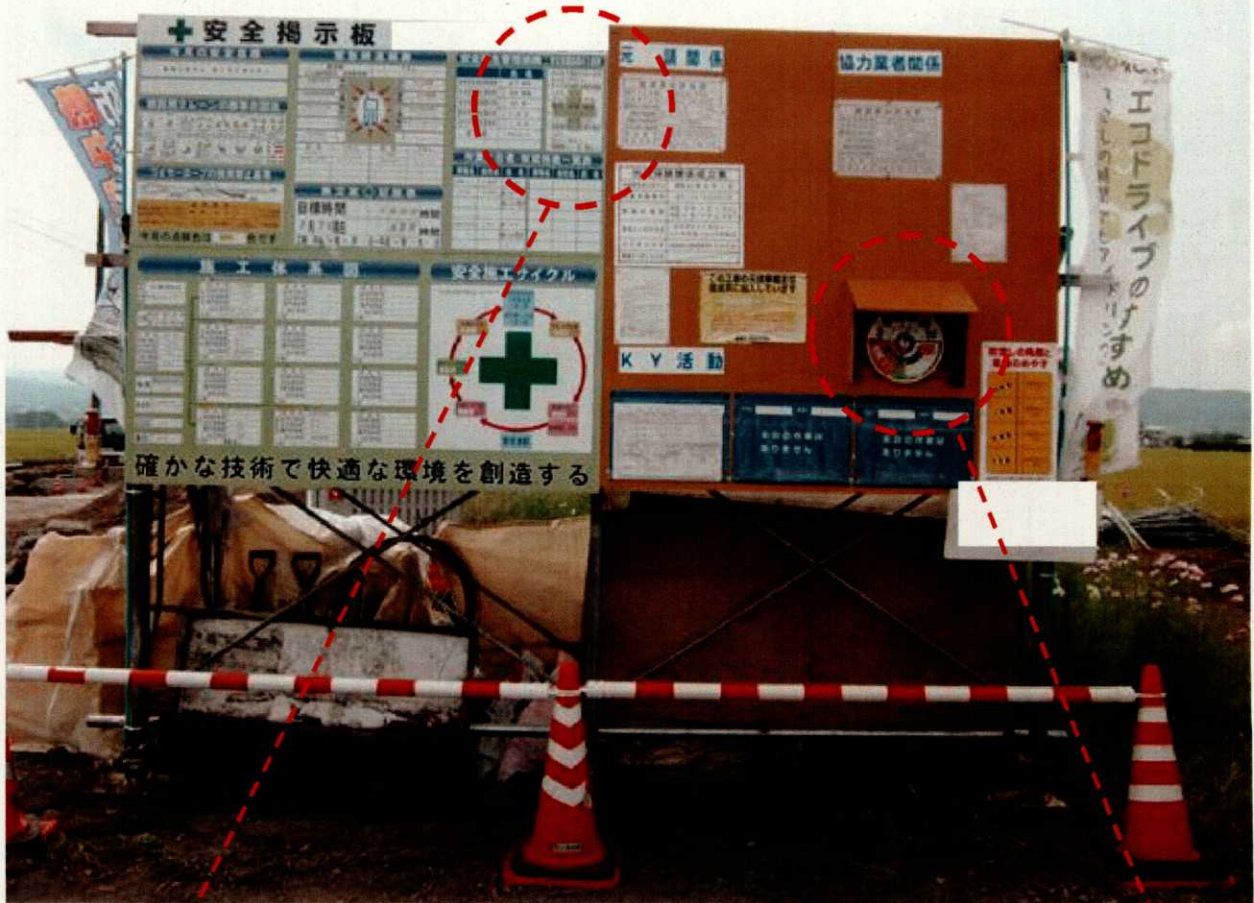
危険の「見える化」安全衛生活動事例

業 種 : 土木工事業

所 在 地 : 佐久市

好事例の対象: 安全衛生の情報の見える化

- 1 現場掲示板に施工体系や KY 活動の実施状況の情報を掲示している。
- 2 現場掲示板に熱中症予防のため温度計の設置を行い、注意喚起を行っている。
- 3 労働者の安全意識高揚のための掲示を行っている。



危険の「見える化」安全衛生活動事例

業 種 : 土木工事業

所 在 地 : 佐久市

好事例の対象: 安全衛生の情報の見える化

- 1 現場内での車両事故防止のために輪止めの使用の徹底の掲示を行っている。
- 2 現場視察者等のためにも輪止めが用意されている。
- 3 現場へ資材を搬入する業者に対して、輪止めの徹底の掲示を行っている。



危険の「見える化」安全衛生活動事例

★活動概要

団体名 建設業労働災害防止協会長野県支部長野分会 安全指導者会

活動内容 「危険の見える化」パトロールを4班編成により実施

実施時期 平成26年11月4日(火)

パトロールの主眼

「危険の見える化」活動であるリスクアセスメントの実施状況、「残存するリスク」に対する表示等による明確化が図られているか、安全指導者等による点検を行い改善を促す。

指導現場 13箇所

パトロール報告会

パトロール後の報告会において、各班から「危険の見える化」事例及び「改善を要する箇所」の報告がなされ、参加者全員で確認し合った。

報告会で指摘を受けた現場は、改善状況を写真報告する方法で自主的な改善を促し、会員相互の安全水準を高めることとした。

★ 報告会 ★



危険の見える化推奨事例



足場布板下部の突起部分、手すり等にカラーテープで表示し頭部の激突防止を注意喚起している事例。



足場建地上部等にウレタン素材のトラ表示で頭部の激突防止を注意喚起している事例。



昇降用はしごの使用について、安全帯の使用を見やすい表示で徹底している事例。



作業場内への立ち入りを専用ゲートで分けし、第三者の立ち入りを禁止している事例。



AED の設置を近隣住民に対し掲示板で知らせている事例。



作業場内の乗り入れ車両全てに輪止めを徹底している事例。

改善事例



ボックスカルバートと足場との間の開口部から転落する危険性が認められたため、足場板を全面に敷設し改善した。



仮設通路の敷き鉄板下部をトンパックと土嚢袋で支えており、重機等の走行の際に仮設通路の崩壊が危惧されたため、敷き鉄板の下部を埋戻しの方法で改善した。



道路改良工事現場の一般車両に対する誘導が曖昧だったため、工事看板と誘導看板を置き、誘導員を1名増員し改善した。

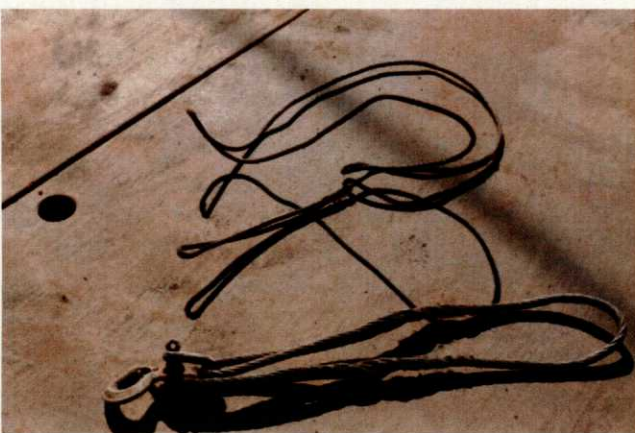
改善事例



足場建地の端部が突起していてつまずくおそれがあったため、端部に保護カバーと出入り口に注意表示を行った。



足場上に資材が置かれており、通行の際つまずくおそれがあったため、資材を撤去した。



キンクしたワイヤーロープを廃棄し、新しいワイヤーロープと交換した。

危険の「見える化」改善事例

業種：窯業・土石製品製造業

所在地：上水内郡飯綱町 労働者数：198人

☆改善に至った契機

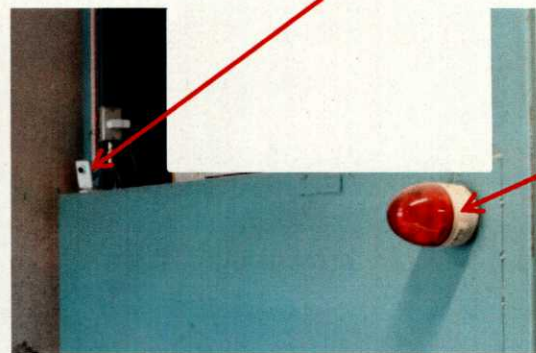
製品原料の入ったフレコンバッグ（1m³）を1階から原料投入口のある3階までクレーンにて吊上げ移動させる作業において、1階での玉掛け作業及び3階でのクレーン運転作業を作業員Aが単独で行っていた。

災害発生時には、作業員Bが入り共同作業を行っていたが、クレーン運転者Aから作業員Bの動作が十分に視認できず、作業員Bがクレーンのワイヤーロープから手を離す前にクレーンの運転を開始したため、作業員Bがフックブロックのシーブに手をはさまれる災害が発生したことを契機に視認性向上等の安全対策を実施した。

3階のクレーン運転位置からの視界状況



1階に設置した周囲確認用カメラ



1階の赤色回転灯

3階の赤色回転灯



3階の確認用モニター

クレーン合図表示板

☆改善状況

- ・ 3階のクレーン運転者の位置から1階の作業員の視認は、吊上げ移動用の開口部より覗き込むしかなく、視界の確保が困難であったため、1階の壁面にカメラを設置し、3階に設置したモニターで1階の作業状況を確認出来るようにした。
- ・ 3階のモニター横にクレーンの合図表示板を併せて設置し、クレーン運転者が1階の作業員が行う合図を確実に視認出来るようにした。
- ・ 赤色回転灯を新たに設置し、クレーン作業中の注意喚起を図った。